

# 1. 事業報告

## 1 交流事業（3, 243千円）

### (1) 海外派遣事業（2,789千円）

#### ① 市民交流団派遣事業

台北市との直行便就航、台南市との七夕交流などで仙台と関係の深い台湾を訪問し、両地域の友好親善を深めることを目的とした交流を行った。

- ・期 間 平成16年12月12日（日）～19日（日）8日間
- ・訪 問 先 台湾台北市、台南市など
- ・協 力 台湾留日東北地区同学会、仙・台友好交流促進協会
- ・訪 問 団 員 12名（公募市民9名、通訳1名、事務局2名）
- ・交 流 内 容 学校訪問、ホームビジット等

#### ② 高校生海外研修

ホームステイ、学校訪問、文化・歴史関連施設の見学などを通して、訪問都市・国への理解を深め、友好関係の構築を目指す交流を行った。今年度は仙台・リバサイド青少年交流協会が事業の企画・運営にあたり、当協会が支援する形で実施した。

- ・期 間 平成16年7月17日（土）～7月26日（月）10日間
- ・主 催 仙台・リバサイド青少年交流協会（後援：仙台国際交流協会）
- ・訪 問 先 アメリカ合衆国リバサイド市
- ・訪 問 団 員 11名（公募高校生7名、事務局4名）

### (2) 受入事業（454千円）

#### ① 来仙市民団交流

- |   |                                   |       |       |
|---|-----------------------------------|-------|-------|
| ア | ブルターニュ・ジャポン協会会員受入                 | 7名    | （4月）  |
| イ | アカプルコ市民団受入                        | 6名    | （8月）  |
| ウ | 「台南七夕交流フェアin仙台」開催支援               | 約180名 | （8月）  |
| エ | リバサイド市公式代表団受入支援<br>（茶道体験、市民歓迎会開催） | 8名    | （10月） |

## 2 支援事業（37, 405千円）

### (1) 留学生支援事業（27,008千円）

#### ① 留学生リサイクル品斡旋会

留学生の生活の支援を図るため、市民より提供されたリサイクル品を低価格で在仙留学生に斡旋した。なお斡旋品目中、自転車については「SENDAI留学生自転車リサイクル事業推進協議会」の事業として提供した。

- ・実施月日 平成16年9月19日（日）
- ・実施場所 仙台国際センター
- ・共 催 I.V. ネットワーク相談支援部会

入場者数	265名
提供物品数	1,900点
売上金額	91,230円
自転車	30台完売

## ② せんだい留学生住居費一部助成

留学生が公的住宅から民間住宅に転居したとき、または入学に際し民間住宅に入居したときの経済的負担を軽減するため、住居費の一部を助成した。

- ・対象者 私費留学生で、協会が定める交付要綱の資格要件を満たす者。
- ・助成額 賃貸借契約書に掲載された家賃1月分相当額（25,000円を上限）とする。
- ・交付者数 前期67名、後期41名

## ③ カード乗車券・図書カードの交付

留学生の生活を支援するとともに、留学生の地域との交流を促進することを目的としてカード乗車券または図書カードを交付した。

- ・対象者 入学1年未満の私費留学生で、交付要綱の資格要件を満たすもの。
- ・交付額 月額5,000円×在学予定月数（5か月を上限とする）
- ・交付者数 533名（乗車券321名、図書カード212名）

## ④ せんだい留学生国際交流協力奨励金

仙台市在住の外国人留学生に「せんだい留学生交流委員」を委嘱し、地域の国際交流及び外国籍市民支援事業への協力を得た。交流委員には月額2万5千円の奨励金を支給し、活動の経済的支援とした。

- ・応募総数 72名
- ・合格者（せんだい留学生交流委員）25名（13か国・地域）  
 （内訳） 性別…男性9名、女性16名  
 国別…中国7名、韓国5名、バングラデシュ2名、ロシア2名、ブラジル、台湾、インドネシア、シンガポール、タイ、モンゴル、ベトナム、セネガル、ネパール各1名  
 学校別…東北大学20名、宮城大学2名、宮城教育大学3名、

## ⑤ 留学生ガイドブックの作成

在住外国人向けに地震をわかりやすく説明した「多言語防災マニュアル（DVD版）」を作成した。仙台国際センターで視聴、貸出しを行う他、関係機関に配布して在住外国人の防災意識向上を図る。

- ・内容 映像は各言語共通：23分  
 〔導入部〕 阪神淡路大震災／仙台市での取り組み／本マニュアル紹介  
 〔第1部：地震について知る〕 インタビュー／地震の起こるメカニズム／震度とマグニチュード／二次災害  
 〔第2部：地震発生時の行動〕 インタビュー／時系列行動／場面別行動  
 〔第3部：地震に備える〕 インタビュー／家の中の整理／持出品の準備／防災訓練／家族・友人との話し合い／避難所／災害語学ボランティア／災害用伝言ダイヤル

・ 翻訳言語

英語，中国語，韓国・朝鮮語，モンゴル語，スペイン語，ポルトガル語，タガログ語，ロシア語，バンガラ語，タイ語，日本語，やさしい日本語（12種類）

＊各国語のシナリオを仙台国際交流協会ホームページで公開

・ 配布先 仙台市内の留学生受入教育機関、図書館、在住外国人団体等

⑥ 国際理解人材紹介制度

国際交流活動を希望する留学生をはじめとする外国籍市民や国際協力活動，海外生活経験のある日本人市民を人材登録し，小中高等学校，市民センター等公的機関からの依頼に応じて紹介した。また，登録者と依頼者向けの研修会を実施した。

- ・ 登録者数 104名 27か国
- ・ 紹介延べ人数 255名
- ・ 参加者数 7,551名
- ・ 研修会 人材紹介前の打合せ会  
及び実施後の意見交換会

依頼者	件数
小学校	54件
中学校	5件
市民センター	6件
仙台市関係機関	1件
高等学校	2件
養護学校	5件
その他	4件
計	77件

⑦ 多文化共生講座

せんだい留学生交流委員の企画により、母国の様子が伝わる写真と絵本の展示、解説を行った。

ア 留学生による写真展&絵本展 ～親しくなろう世界と！～

- ・ 実施月日 平成16年9月19日（日）
- ・ 実施場所 仙台国際センター
- ・ 展示品数 6カ国11名の留学生の撮影した写真86点及び6カ国の絵本62冊

イ 国際理解講座「味で感じる世界」

せんだい留学生交流委員の企画により、交流委員を講師としてロシア料理とセネガル料理調理講習、試食及びそれぞれの国の紹介

- ・ 実施月日 平成16年11月6日（土）第1回ロシア編  
平成16年11月28日（日）第2回セネガル編
- ・ 実施場所 ガスサロン
- ・ 来場者数 32名（各日定員16名）

## (2) 外国籍市民支援事業 (3,448千円)

### ① 日本文化講座

在仙外国籍市民の日本理解の一助となるよう、日本の伝統文化芸術を体験・学習する機会として「七夕交流会」を実施した。

- ・実施月日 平成16年7月19日(月・祝日)
- ・実施場所 仙台国際センター
- ・内 容 折り紙, 生け花, 茶席, 書道, 着付け, 琴, 俳句, ちぎり絵
- ・参加者数 300名

### ② せんだい日本語講座

在仙の外国籍市民を対象に、市民との円滑なコミュニケーションや生活習慣についての理解を深め、快適な日常生活ができるように日本語講座を開催した。

- ・実施時期 前期(4月～9月) 後期(10月～3月)
- ・開講日数 前期70日 後期68日
- ・修了者数 前期145名 後期133名
- ・実施場所 青葉区中央市民センター
- ・受講料 無料

### ③ 日本語ボランティア育成講座

外国籍市民に日本語をボランティアで教える人材の育成を目的とし、年間を通し二期制の講座として開催した。

- ・実施時期 前期(5月～7月) 後期(10月～12月)
- ・修了者数 31名
- ・講師 大学教官, 日本語講師等
- ・受講料 12,000円(各期毎)

### ④ 日本語ボランティア個人登録制度

「日本語ボランティア育成講座」の修了生を対象に、より高い指導方法を習得するための研修会を開催し、また、日本語ボランティアの日本語学習希望者への紹介及び教習場所の提供を行い、活動をサポートした。

- ・研修会 年4回(7月, 10月, 1月, 2月)
- ・実施場所 仙台国際センター
- ・紹介実績 116件 31か国
- ・登録者数 169名(内16年度修了生22名)

### ⑤ 外国籍市民懇談会

様々な立場で仙台に在住する外国籍市民が日常抱えている問題点等についての情報・意見交換を行う懇談会を実施した。そこで出された意見等を協会事業に反映させた。

- ・1回目 平成16年9月11日(土) 留学している方3名とその支援団体より日本の方2名
- ・2回目 平成16年9月25日(水) 就業している方3名とその支援団体より日本の方2名
- ・3回目 平成16年9月29日(土) 配偶者の方3名とその支援団体より日本の方2名

### (3) 市民交流支援事業 (5,415千円)

#### ① 国際交流活動助成

市民の自主的な国際交流活動の促進を図るため、事業経費の一部を補助することにより助成を行った。

- ・助成金額 対象経費の1/2以内(上限額あり)
- ・交付件数 18団体

#### ② ボランティア活動支援事業

仙台市国際交流ボランティア・ネットワーク(I.V.ネットワーク)の活動の支援をはじめ、日本語ティールームボランティアの日本語教室、SEIGレター発行、ICAS日本語教育実践講座への助成を行った。

I.V.ネットワーク登録状況(平成16年度末現在)

- ・個人会員304名(男性52名/女性252名)

〈個人会員部会別内訳〉

※重複登録有り

ホームホスピタリティ部会	34名
通訳ガイド部会	98名
文化交流部会	109名
相談支援部会	39名
情報関係部会	8名
姉妹都市部会	33名

- ・団体会員29団体

### (4) 国際理解推進事業 (1,534千円)

#### ① アメリカ留学相談会

- ・実施月日 平成16年10月16日(土)
- ・実施場所 仙台国際センター
- ・来場者数 TOEFL説明会43名、留学説明会58名

#### ② 青少年育成事業

開発教育ワークショップや留学生との意見交換を通して、国際交流・協力への理解を深め、多様な文化を受け入れられる人材を育成するために、小・中・高校生各2日間ずつの講座を実施した。スタッフは留学生交流委員会を中心とした外国人留学生、日本人学生、NGOスタッフなど。

- ・実施場所 仙台国際センター 研修室
- ・実施日及び内容

##### ア 小学生の部

- ・7/4(日) 参加者数：小学生24名、留学生7名、日本人スタッフ3名  
内 容：ワークショップ「もしも世界が100人の村だったら」「貿易ゲーム」、ワールドトーク(バングラデシュ、ロシア)
- ・7/11(日) 参加者数：小学生23名、留学生12名、日本人スタッフ3名  
内 容：講話「ネパールの子ども達」、ワークショップ「フォトランゲージ：アメリカを考える」、ワールドトーク(中国、ロシア、インドネシア)

#### イ 中学生の部

- ・7/25(日) 参加者数：中学生11名，留学生6名，日本人スタッフ2名  
内 容：ワークショップ「ペドロの開発」、ワールドクイズ（バングラデシュ，中国，ケニア，ロシア）、ワールドトーク（ロシア，ケニア）
- ・7/31(土) 参加者数：小学生17名，留学生6名，日本人スタッフ3名  
内 容：講話「自分の想いをカタチに（NPO活動について）」、ワールドトーク（中国，ケニア，中国）

#### ウ 高校生の部

- ・8/1(日) 参加者数：高校生14名，留学生7名，日本人スタッフ3名  
内 容：講話「私の国際協力」、ワークショップ「異文化コミュニケーション：バーンガ」、ワールドクイズ（中国，セネガル，韓国，ロシア）
  - ・8/8(日) 参加者数：高校生11名，留学生9名，日本人スタッフ3名  
内 容：ワークショップ「国ってなあに？」、ワールドトーク（中国，セネガル，韓国）
- \*小・中・高校生の部で国際センターバックステージツアーを実施

#### エ その他

仙台国際センター視察の高校生に対して開発教育ワークショップを実施(11/21)  
JICA等主催の「国際協力のつどい」にて，子ども向け国際理解ブース設置(3/6)

### ③ 仙台国際センターまつり

仙台国際センター開館記念日の前後に，仙台市及びI.V.ネットワークとの共催により，市民・外国籍市民を対象に各種催しを行い，国際交流に関わる個人・団体間の相互交流を図るとともに協会や国際交流団体の諸活動への理解を推進した。

- ・実施月日 平成16年9月19日（日）
- ・実施場所 仙台国際センター
- ・来場者数 約3,000名
- ・参加団体 I.V.ネットワーク他30団体

## 3 調査研究広報事業（4,442千円）

### (1) 調査・研究（2,524千円）

#### ① 説明会，情報交換会

平成16年度仙台市留学生支援事業説明会（留学生受入機関担当者対象）

#### ② 研修会，会議等への出席

- ・地域国際化協会連絡協議会総会（東京）
- ・東北・北海道国際化協会連絡協議会総会及び研修会（青森）
- ・第2回国際交流協力実践者全国会議2004（大阪）
- ・平成16年度文化庁日本語教育大会（東京）
- ・「i」システム研修会（東京）

- ・ 栃木・南東北国際観光テーマ地区推進協議会「i」案内所職員研修会（福島）
- ・ 全国市町村国際文化研修所「国際化対応コース（16年度第3回）」（滋賀県大津市）

### ③ ホームページの運営

10言語（日本語，英語，中国語簡体字，中国語繁体字，韓国語，インドネシア語，タイ語，マレー語，ポルトガル語，バングラ語）  
携帯電話用ホームページ新設（日本語、英語）

### ④ メールマガジンの配信（日本語，英語）

- ・ 配信 月に1、2回程度発行。
- ・ 内容 協会事業及び国際交流団体事業の告知、仙台市の外国籍市民向け情報等
- ・ 言語 日本語，英語
- ・ 登録者 184名（2005年3月現在）

## (2) 広報・情報（1,918千円）

協会広報誌「SIRA WIND」の発行

3,000部，年4回発行

## 4 管理運営事業（436,378千円）

仙台市から指定管理を受け，仙台国際センターの管理運営及び事業を行った。

### (1) 仙台国際センターの管理運営（411,803千円）

- ・ 会館日数 341日
- ・ 利用状況  
国際会議18件，全国会議43件，その他826件， 計887件

### (2) 交流コーナーの運営（24,021千円）

交流コーナーでは，協会職員及びボランティアスタッフによる相談受付の他，図書貸出，ビデオ視聴，掲示板の運用など様々な情報提供を行っている。平成16年度は「国際協力プラザ」や「交流コーナーギャラリー」を新たに設置した。

- ・ 入場者数 43,377名（日本人21,342名，外国人22,035名）  
1日平均128名
- ・ 相談受付数 3,406件（日本人1,434件，外国人1,972件）  
1日平均 10件

[相談内容別件数]

	相談内容	相談件数
1位	仙台国際交流協会について	854件（25.1%）
2位	日本文化・語学について	564件（16.6%）
3位	交通・観光について	492件（14.4%）

[相談方法別件数]

1位	来訪	2,157件(63.3%)
2位	電話	847件(24.9%)
3位	英語専用電話	338件(9.9%)
4位	Eメール	61件(1.8%)
5位	手紙	3件(0.1%)

- ・図書貸出数 13,328冊(和書7,166冊,洋書6,162冊)一日平均39.3冊
- ・機材利用数 インターネット12,197名,ビデオ1,880名,カセットテープ102名
- ・印刷物編集・発行 ①交流コーナーだより 4,000部月1回発行  
②仙台生活便利帳(中国語版)改訂発行 4,000部

### (3) 外国籍市民支援事業(555千円)

#### 災害語学ボランティア育成事業

仙台市に登録する災害語学ボランティアに対して研修等を行うとともに、訓練の一環として外国籍市民対象の防災訓練を実施した。

- ・登録者数 49名
- ・対応言語 8ヶ国語  
(内訳) 英語26名,中国語20名,ハングル5名,マレー語4名,スペイン語3名,フランス語2名,ロシア語1名,インドネシア語1名(複数言語登録者有)
- ・研修内容 仙台市総合防災訓練(悪天候のため中止)(6月)  
東北大学大学院地震予知・噴火予知センター視察(10月)  
外国籍市民対象の地域防災訓練(11月)  
公開研修会「新潟県中越地震の外国人被災・支援状況報告とやさしい日本語ワークショップ」(1月)

## 5 収益事業(収入額 2,730千円)

仙台国際センターの使用者の利便を図るため、レセプション等の手配を行った。

- ・ケータリング事業 456件
- ・代行手配業務 設営 348件,飲食 54件,生花 19件,  
技師 14件,看板等 92件, 合計 527件